甲南大学 文学部

2022年度 活動報告

「ぶんたすプロジェクト」をはじめ5学科の活気あふれる１年間の活動をご報告します。「ぶんたすプロジェクト」とは「ぶん」学部の多様な学びを「たす」プロジェクトです。
さらに詳しい内容を知りたい時には、二次元バーコードから活動の詳細が見られます。ぜひアクセスしてみてください。

1 文学部 Faculty of Letters

2022年7月6日

文学部成績優秀者表彰式

文学部では、3年次までに優秀な成績を修めた学生さんを、4年次前期に表彰しています。2年次以降にコロナ禍という逆境を経験した成績優秀者の皆さんは、表彰式での一言スピーチで、コロナ禍でも、自分を成長させてくれる学友や先生に恵まれていること、興味ある学問分野を追究でき、学生生活を満喫していることなど、それぞれの思いを語ってくれました。

学部長から表彰状授与

▲詳しくはこちら

2 文学部 Faculty of Letters

2023年1月17日

リンク・プログラム修了者インタビュー

2022年度から始まった「リンク・プログラム」。修了者の中からご協力いただける学生さんにインタビューさせていただきました。自学科での専門科目とは別の科目を学ぶことで、多角的な視点が身についたり、知らなかったことを知れて嬉しかったとのこと。様々なことに興味を持っている人は多いと思います。是非、幅広い知識を身につけてください。

修了者第一号おめでとう

▲詳しくはこちら

3

2022年5月〜12月

日本語日本文学科

Depatment of Japanese Literature and Language

ボランティア日本語教室「あおぞら」再開

「あおぞら」は、大学近郊に住む外国人の日本語学習を支援する目的で、甲南大学の学生有志が始めた日本語教室です。コロナ禍で2年間休止していましたが、2022年に活動を再開しました。先輩学生がいない中、手探りでの活動で失敗も数々ありましたが、「あおぞら」は甲南生も日本語・日本文化や異なる言語文化を学ぶ貴重な場となっています。

外国人とペアや小グループになって日本語学習

▲詳しくはこちら

4

2022年11月15日

日本語日本文学科

Depatment of Japanese Literature and Language

八代健志監督『劇場版ごん』上映＆トークイベント

新美南吉の名作童話「ごんぎつね」を、ストップ・モーション・アニメで甦らせた『劇場版ごん』。映画を監督した八代健志さんと制作スタッフの加倉井芳美さんを教室にお招きして、上映会を開催しました。トークイベントでは監督に直接質問できたほか、撮影素材を間近に見られる特別展示も設けられ、文学と映画の魅力を堪能できました。

映画監督が教室に!

▲詳しくはこちら

5

2022年11月24日

日本語日本文学科

Depatment of Japanese Literature and Language

ゼミで美術館を見学しました

古典文学を専攻する田中貴子ゼミでは、積極的に美術館、博物館の見学を行っています。今回は中之島香雪美術館「伊勢物語展」で、「伊勢物語色紙」をはじめとする美術や古典籍をじっくり鑑賞し、『伊勢物語』『源氏物語』などの平安文学と、後世における享受の諸相を学ぶことができました。

美術館入り口の学生たち

▲詳しくはこちら

6

2023年1月14日

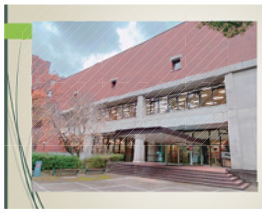
日本語日本文学科

Depatment of Japanese Literature and Language

国語教師をめざす4年生 デジタル教科書を用いた句会

教職課程の授業で、デジタル教科書を使った俳句の教材研究に取り組みました。「4年間通った甲南大学キャンパスで思い出の場所を写真に撮り、その写真に俳句を添えて、スライドにまとめる」という課題にも挑戦。優秀作を投票で決める句会を開催しました。卒業論文で「『万葉集』と植物」をテーマにしていた学生の作品が、最も多くの票を得ました。

投票で選ばれた優秀作



図書館で枯れた萬葉花ひらく

▲詳しくはこちら

7

2022年6月23日

英語英米文学科

Department of English Literature and Language

翻訳家の小竹由美子さんをお招きして オープン・セミナーを開催しました

ノーベル文学賞を受賞したカナダの女性作家アリス・マンローの翻訳でもよく知られ、すでに50冊を超える英米の文学作品を翻訳し、英米文学翻訳の最前線で活躍されている翻訳家の小竹由美子さんをお招きしてオープン・セミナーを開催しました。盛りだくさんの話題に終了後も学生の質問の長い列ができました。

翻訳家への道のりを語る小竹さん

▲詳しくはこちら

8

2022年11月17日

英語英米文学科

Department of English Literature and Language

イスラエルの作家ウズィ・ヴァイルさんを お招きしたオープン・セミナーを開催しました

初の日本語訳短編集『首相が撃たれた日に』が出版されたタイミングで来日されたウズィ・ヴァイルさんをセミナーにお招きしました。学生は翻訳を読んで各作品について英語で質問。海外の著名な作家と生で触れあえる貴重な機会は大学ならでは。ウズィさんも楽しく自作について語ってくれ、素晴らしい交流となりました。

作品について英語でディスカッション!

▲詳しくはこちら

9

2022年12月7日

英語英米文学科

Department of English Literature and Language

英文科毎年恒例の「英語サミット」を 対面で開催しました

恒例の「英語サミット」を対面で開催しました。これは英文科の学生団体KEALLが主導して年に一度1，2年の学生が全員参加するイベントです。コロラド・カレッジで教えている2006年卒業生の大西宏美さんのZoomによる講演とKEALLによる英語クイズ大会の二本立てです。卒業生の生き方に学ぶところも多い充実のイベントとなりました。

KEALL学生による英語クイズ大会

▲詳しくはこちら

10

2022年12月14日

英語英米文学科

Department of English Literature and Language

井野瀬ゼミと経済学部永廣ゼミの 合同ゼミを開催しました

英文科井野瀬ゼミと経済学部の永廣ゼミは毎年学部の垣根を越えて「合同ゼミ」を開催し、もう10年以上の歴史があります。経済学部の「人は愛をとるか？お金をとるか？」というテーマ、英文の「香港の若者はどこへ向かうのか？」といったテーマを中心に、入念に準備された発表と活発な質疑応答で学部を超えた学問的交流が今年も生まれました。

他学部の学生と発表と質疑でしのぎを削ります

▲詳しくはこちら

11

2022年4月26日

社会学科

Department of Sociology

キャリアについて考える ー文学部社会学科の取り組みー

毎年、社会学科１年生全員が前期に履修する「研究法入門演習」の授業では、卒業生をゲストに迎えています。卒業生には、学生時代の過ごし方や進路選択の方法、今の仕事や休みの日の過ごし方などについて語っていただき、新入生が自分の将来を具体的に想像できるようにしています。2022年度は、外資系企業で働く卒業生に参加していただきました。

「研究法入門演習」の様子

▲詳しくはこちら

12

2022年4月22日
2022年5月6日

社会学科

Department of Sociology

米国フィンドレー大学とのCOIL型授業

社会学科の松川ゼミは、米国フィンドレー大学（University of Findlay）とのCOIL型授業（ICTを活用した海外の学生との協働学習を取り入れた授業）に参加しました。Zoomを活用し、フィンドレー大学の学生が作成した大阪弁による大学紹介スキットを学生たちが一緒にチェックし、交流活動を行いました。

4月22日のZoomによるセッション

▲詳しくはこちら

13

2022年7月12日

社会学科

Department of Sociology

「ひょうごビジョン2050」出前講座 ＠社会ネットワーク論

2050年の兵庫県の姿を展望して策定された「ひょうごビジョン2050」について、地域における人と人とのつながりをどのように描いているのか、ビジョンが目指す豊かな地域コミュニティとはどのようなものなのかについて、兵庫県庁の職員の方に解説していただき、多世代が持続的に参加できる地域コミュニティのあり方を考えました。

兵庫県庁の職員によるビジョンの解説

▲詳しくはこちら

14

2022年7月13日

社会学科

Department of Sociology

「メディア文化論」でVR（ヴァーチャル・リアリティ）美術館見学会！

「メディア文化論」は、国内外の地域メディアと連携し、コミュニケーションツールとしてのメディアについて学ぶ科目です。2022年度は、美術作家の植村友哉さんをお招きし、WESON MUSEUM見学会を実施しました。この美術館には、仮想現実空間に絵が展示されています。初めてのVR授業の詳細は、甲南Chの記事をご覧ください。

VR美術館とZOOMをつなぐ

▲詳しくはこちら

15

2022年6月26日

人間科学科

Department of Human Sciences

長谷川三郎記念ギャラリーの裏側を探る

「博物館概論」の授業で、甲南高校にある長谷川三郎記念ギャラリーを見学しました。「抽象絵画のパイオニア」と呼ばれる長谷川三郎は甲南高校の出身で、ご遺族のご厚意により、多くの作品が甲南学園のコレクションになっています。見学会では、作品を鑑賞するだけでなく、スタッフの方に作品保管の苦心や工夫をお聞きしたりし、見聞を深めました。

お気に入りの作品を見つけてギャラリートーク

▲詳しくはこちら

16

2022年7月28日

※写真の人形劇実施日/活動は通年

人間科学科

Department of Human Sciences

子育て支援活動での託児＆人形劇をしました

「心理地域援助」という授業では、小中学校での教員補助もしくは地域の子育て支援活動に通年参加します。子育て支援では乳幼児や子育て世代と交流し、子どもの成長やそれを支える絆の大切さを実感します。世代を超えた交流機会は、親子や大学生にとって貴重ですし、大学生にとっては、将来のビジョンを考えるきっかけになっています。

子どもが楽しめる人形劇を工夫しました

▲詳しくはこちら

17

2022年11月19日

人間科学科

Department of Human Sciences

〈無人島ゼミ〉でゴミ問題を考える

洲本市沖にある美しい無人島「成ケ島」は、多くのゴミが漂着することでも知られています。人間科学科の西ゼミで、この成ケ島を訪れてゴミの実態を調べ、漂着ゴミの清掃活動に取り組みました。ペットボトルや発泡スチロールなど海岸に打ち上げられた膨大な量のゴミを拾い「海へ出る廃棄物を減らさなくては」という思いを強くしました。

流れ着いたゴミを集めて

▲詳しくはこちら

18

2022年11月20日

人間科学科

Department of Human Sciences

地域のアートイベントで成安造形大学と交流

滋賀県大津市の成安造形大学では、「堅田・はまさんぽ」というアートイベントを毎年実施しています。人間科学科の服部ゼミでこのイベントに参加し、企画した学生さんや先生方のご案内でワークショップを体験したり、堅田の旧市街をグループに分かれて歩きながら展示作品を鑑賞したりして、領域が異なる分野で学ぶ学生さんから刺激をいただきました。

同世代の美大生が企画したイベントに参加

▲詳しくはこちら

19

2022年4月29日～12月4日
※上記期間中に14回実施

歴史文化学科
Department of History and Culture

博物館学芸員の仕事を知る
－白鶴美術館との博学連携事業－

今年度の白鶴プロジェクトは、歴史文化学科と人間科学科の学生17名で下記の活動を行いました。①白鶴美術館の特別展示（春季・秋季）における来館者ワークショップの企画・運営。②文化財の保存修復工房の見学と彫金の体験。③展示替えの手伝い。秋季展示では②の経験を活かした新たなプログラムを作りました。博物館学芸員課程の実践の場ともなっています。

▲詳しくはこちら

京都市の森本錺金具製作所を訪問し、鏨（たがね）で銅板に模様をつける体験をしました。

20

2022年11月23日

歴史文化学科
Department of History and Culture

基礎演習で「みんぱく」へ――
世界の文化遺産、現物を見て考える

歴史文化学科の基礎演習では、毎年「みんぱく」（吹田市万博公園内にある国立民族学博物館）に出かけています。残念ながら、過去2年間はコロナの感染拡大で中止せざるをえませんでしたが、今年度からは少人数に分かれて訪問しています。世界の文化遺産に接するなかで、学生たちは多くの事を学んでいます。やはり、本物、現物に触れることが大事です。

▲詳しくはこちら

1年生の博物館訪問

21

2023年1月17日・2月25日

歴史文化学科
Department of History and Culture

「歴史総合」「地理総合」研究会開催――
歴史地理教育の高大連携を考える

2022年度から高校社会科に導入された新必修科目、「歴史総合」「地理総合」にどう取り組むかを考える研究会を、2023年1月17日、2月25日に開催いたしました。本学出身の高校の先生にご報告いただき、学生、教職課程教員、付属高校教諭のみなさんと議論しました。今後もこの研究会を継続し、新しい歴史・地理教育の構築に貢献します。

▲詳しくはこちら

高校の先生とともに学ぶ

22

歴史文化学科
Department of History and Culture

歴史文化学科のいまを知る
WEBサイト

「歴らぼのWEBサイト」では学科の様々な活動を紹介中です。講義内容やゼミ、歴らぼ、学生や教員の活動のことなど、たくさんの記事を掲載しています。また、それらは「歴らぼ通信」として定期的に発行しており、2023年2月現在で17号となりました。記事は随時追加されるので、学科の最新情報を知ることができます。みなさん、ぜひご覧ください！

▲詳しくはこちら

通信は歴文図書室前（10号館5階）で配付中

KONAN INFINITY

甲南大学 文学部

https://ch.konan-u.ac.jp/information/category-11/

2023年3月発行